

財団法人 Karuizawa New Art Museum

井上有一

～日々絶筆・書の前衛アート～

2012年9月13日（木）～2012年12月24日（月・祝）

Karuizawa New Art Museum オープニング記念企画展覧会第2弾として、「井上有一 ～日々絶筆・書の前衛アート～」を開催いたします。

井上有一は、1916年東京下谷に生まれ、小中学校の教師をしながら制作に励みました。初期には画家にあこがれ抽象画を描いていた有一ですが、自らの道が書を描くことにあると開眼し、その後一筋に書の世界を追求し続けます。紙いっぱい、時には紙の境界をも越えて巨大に書かれた一文字、有一の書業を代表する「一字書」は、近代以降、西洋文化の流入により「美術」の範疇から切り捨てられた「書」を、「アート」として再確認させる造形表現だといえるでしょう。その朴訥で力強く、観る者を圧倒するほどの生命感にあふれた作品の数々は、これまで書にふれる機会の少なかった方々にも、新鮮な魅力として感じ取っていただけるはずです。近年書法の本元である中国では、「伝統的中国の〈書〉は、ポスト有一でどこまで展開できるか、どのような可能性があるか、どう歩めばよいか…」と言われるほど、海外での有一の評価は高まっています。今回、第1展示室には井上有一の《夢》11点、第2展示室には《貧》や《東京大空襲》をはじめとする代表作16点が並びます。井上有一の一字書を中心に大作が集うこの機会、文化の秋に是非みなさまでお出かけください。

また、本展覧会は「大浮世絵展 ～北斎・広重そして春画～」と同時開催です。KaNAMの提示する、これまでにない浮世絵展の企画にもどうぞご注目ください。

主な出品作品



① 《夢》 Yume
1966年
墨・和紙
214.0×125.0cm



② 《夢》 Yume
1970年
墨・和紙
85.4×123.3cm



③ 《夢》 Yume
1973年
墨・和紙
105.6×125.7



④ 《貧》 Hin
1972年
墨・和紙
126.0×182.0cm



⑤ 《夕やけ》 Yuyake
1973年
墨・和紙
115.0×115.0cm



⑥ 《上》 Jo
1985年
墨・和紙
143.0×182.0cm

井上有一略歴

1916～1985 年/ 大正 5～昭和 60 年

東京下町（下谷）生まれ。師範学校を卒業後小中学校の教師をしながら絵や書の制作に励む。25 歳で書家・上田桑鳩に師事。やがて書壇のあり方に疑問を抱き、桑鳩門を離れ「墨人会」を結成、「アートとしての書」の道を切り開く。閉鎖的高踏的な書壇に抗して「書は万人の芸術である」と主張した。世界的に広がった抽象表現美術に呼応、タピエスやクラインなどからも高い評価を得る。実験的な「一字書」という漢字一文字を大きく書く作品で評価を高め、特に《貧》の一字書は生涯に 64 点書き残し、この書家のトレード・マークとなった。近年、書の本家である中国でも井上有一の書の評価は異例というほど高まっている。

【主なパブリックコレクション】

《愚徹 C》1956 年 国立国際美術館

《作品 G》1956 年 千葉市美術館

《骨》1959 年 東京国立近代美術館

《仏》1960 年 カーネギー研究所美術部門

《噫横川国民学校》1978 年 群馬県立近代美術館

《貧》1972 年、《上》1984 年 京都国立近代美術館

開催情報

- ◇展覧会名 井上有一 ～日々絶筆・書の前衛アート～
- ◇会 期 2012年9月13日(木)～2012年12月24日(月・祝)
※特別内覧会：2012年9月12日(水)
- ◇会 場 Karuizawa New Art Museum 第1・2展示室(2階)
〒389-0102
長野県北佐久郡軽井沢町軽井沢 1151-5
- ◇開館時間 午前11時～午後5時(入館は30分前まで)
- ◇休 館 日 毎週火曜日・水曜日
- ◇観 覧 料 一般：800円、65歳以上・高大生：600円、中小生：400円
※団体：20名以上で来館の場合、上記各入館料の100円引き
※同時開催・大浮世絵展との共通券：
一般：1600円、65歳以上・高大生：1200円、中小生：800円
団体：20名以上で来館の場合、上記各入館料の200円引き
※未就学児はどの場合も無料。
- ◇主 催 Karuizawa New Art Museum
- ◇共 催 (株) UNAC TOKYO
- ◇後 援 長野県、長野県教育委員会、軽井沢町、信濃毎日新聞社、軽井沢新聞社、
軽井沢ニュース

【同時開催】

- 大浮世絵展 ～北斎、広重、そして春画～
2012年9月13日(木)～2012年12月24日(月・祝)

関連情報

【特別内覧会】

日時：2012年9月12日（水）午後2時～

会場：Karuizawa New Art Museum 第1・2展示室（2階）

内容：記者会見、展覧会内覧、演奏会（予定）

※完全招待制となります。（要招待状）

プレスの方で参加ご希望の方は、下記問合せ先までご連絡ください。

【関連イベント・プログラム】

・ワークショップ①「一字書で扇子！をつくろう」

9月23日（日） 無料・事前申込制（要展覧会チケット）

・ワークショップ②「今年の漢字 in KaNAM」

12月23日（日・祝） 無料・当日参加可（要展覧会チケット）

・キュレーターによるギャラリートーク

9月22日、10月6日、10月20日、11月24日、12月8日、12月22日

各日午前11時～午前11時半 無料（要展覧会チケット）

【展覧会カタログ】

『井上有一 日々絶筆 書の前衛アート』

予価 1800円 | 2012年9月中旬発売予定

【プレス画像】

本展広報用として、上記7点の図版がございます。掲載ご希望の方は別紙 FAX シートまたは E メールにて、ご希望の図版番号をお知らせください。

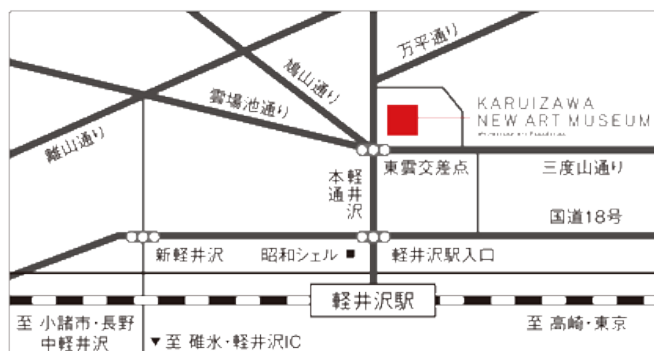
・申込書

KARUIZAWA
NEW ART MUSEUM

Whitestone Art Foundation

【交通案内】

JR 東日本・しなの鉄道「軽井沢駅」から徒歩7分



【お問い合わせ先】

Karuizawa New Art Museum (軽井沢ニューアートミュージアム)

TEL: 0267-46-8691 / FAX: 0267-46-8692

〒389-0102

長野県北佐久郡軽井沢町軽井沢 1151-5

pr@knam.jp

KARUIZAWA
NEW ART MUSEUM

Whitestone Art Foundation

井上有一

～日々絶筆・書の前衛アート～

財団法人 Karuizawa New Art Museum 広報課宛

FAX: 0267-46-8692 / E-mail: pr@knam.jp

本展覧会広報用素材として、作品画像 6 点をご用意しております。

ご希望の際は下記申込用紙に必要事項をご記入の上、ファックス又は E メールにてお申込みください。なお、写真の使用に際し、以下の点をご注意ください。

- ① キャプションは、作家名、作品名、制作年、クレジットを必ず表記ください。
- ② 作品のトリミング、文字載せはお控えください。

※本展記事を紹介頂く場合には、恐れ入りますが情報確認の為に校正、掲載誌（紙）、DVD、CD 等をお送りください。

| | | |
|---------|--|--------------------|
| 媒体名： | 種別： <input type="checkbox"/> テレビ <input type="checkbox"/> ラジオ <input type="checkbox"/> 新聞 <input type="checkbox"/> 雑誌 <input type="checkbox"/> フリーペーパー <input type="checkbox"/> ネット媒体 <input type="checkbox"/> 携帯媒体 <input type="checkbox"/> その他（ ） | 発売・放送予定日： 年 月 日 |
| 御社名： | ご担当者名： | 電話番号： |
| FAX 番号： | ご住所： | メールアドレス： @ |

図版番号：

- ① 《夢》 Yume 1966 年 墨・和紙 214.0×125.0cm ©UNAC TOKYO
- ② 《夢》 Yume 1970 年 墨・和紙 85.4×123.3cm ©UNAC TOKYO
- ③ 《夢》 Yume 1973 年 墨・和紙 105.6×125.7cm ©UNAC TOKYO
- ④ 《貧》 Hin 1972 年 墨・和紙 126.0×182.0cm ©UNAC TOKYO
- ⑤ 《夕やけ》 Yuyake 1973 年 墨・和紙 115.0×115.0cm ©UNAC TOKYO
- ⑥ 《上》 Jo 1985 年 墨・和紙 143.0×182.0cm ©UNAC TOKYO

**KARUIZAWA
NEW ART MUSEUM**

Whitestone Art Foundation